

「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成

～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～



泉佐野市立第三小学校

平和と戦争



今日から2学期です。夏休みの間、子どもたちは大きな事故にも遭わず、元気に学校に登校してくてくれたことを教職員一同、嬉しく思っております。

パリ2024オリンピックでは、世界中の人々が、各国の選手から大きな感動をもらうことができました。「スポーツを通して文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、平和でよりよい世界の実現に貢献する。」といった、オリンピックの基本理念は、これからも私たちが深く胸に刻み、大切にしていかなければならないと思います。

夏休み中の8月6日（火）に平和登校日を持ちました。体育館での平和集会では、全教職員と子どもたちが1分間の黙とうを捧げ、私から以下のお話をしました。

- ・1945年8月6日、午前8時15分に広島県に原子爆弾が投下され、現在も正確にはわかってはいませんが、およそ14万人の人々が亡くなったこと。8月9日にも長崎県に投下され、多くの人々（およそ7万3千人）がなくなったこと。命をとりとめた多くの人々が、心身の傷害に苦しめられたこと。
- ・第2次世界大戦での日本の戦死者数は、およそ310万人。世界では4000万人～5000万人といわれていること。
- ・自分を含め、家族や知り合いが、戦争によって命をなくすむごさ、痛みを思い浮かべること。
- ・日本の現在の平和は、多くの方々の犠牲によって、もたらされていることを決して忘れてはいけないこと。
- ・現在も、世界では戦争が行われているという現実を知ること。
- ・世界には多種多様な考え方や、文化の違いがあること。違いを非難し合うのではなく、互いに尊重しながら、思いやって生きること。
- ・戦争には必ず原因がある。望んで戦争を始める人はいないはずだが、戦争は起きる。どのような原因があっても、戦争を起こしてはならず、平和を守り続けるためにしっかりと学ぶこと。

この後、心をこめて全教職員から子どもたちに、谷川俊太郎さんの「へいわ と せんそう」の絵本の読み聞かせを行い、たてわり班で子どもたちが輪になり、平和と戦争についての話し合いを行いました。2時間目には、6年生の子どもたちが10月の修学旅行でヒロシマを訪れる際に持っていく、千羽鶴の折り鶴を全校児童で折るなど、平和について深く考える1日となりました。

第三小学校では、今後も様々な視点から、子どもたちが平和を築く主体者となるための教育を進めて参ります。皆さま、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



※お子様の様子や情報はHPに掲載中です。

校長 泉谷 一

泉佐野市立第三小学校

検索